

# むらた歯科通信

No.5 September

発行年月日  
2014年9月1日

発行人  
むらた歯科クリニック



今月の特集

## 子どもの歯科治療

学校歯科健診が終わり、近頃はお子さまの来院も増えてきました。今月号では、診療中に質問があった事柄などをQ & A形式でまとめてみました。

### ・乳歯は虫歯になっても大丈夫？

乳歯には、発音や食べ物を噛み砕いたり、すり潰して飲み込むという食事の一連の機能の発達に重要な役目があります。虫歯になり乳歯が無くなると噛む力が減少して、やわらかい物ばかり食べるようになり、これらの機能やあごの成長の発達に悪影響が出ます。また後から生えてくる永久歯を保護する役割もあります。

乳歯の根の間には、永久歯が育っています。乳歯が虫歯や根の先が病気になると、永久歯のエナメル質や象牙質が不完全な永久歯が生えてきてしまうこともあります。

虫歯が重症になって乳歯が早く抜けてしまうと、永久歯の生える場所がずれて歯並びに影響してしまう場合があります。

こどもの歯が虫歯になっても  
おとなの歯に生え換わるから  
ほっとこうと思ってたけど  
いけないことなんだね  
早く虫歯を治しに行こうっと



### ・何歳くらいで永久歯に生え換わる？

乳歯は生後6～8か月頃から生え始め、2歳～2歳半頃までに生え揃います。

その後、早い子どもで5歳頃から乳歯が抜け始め永久歯に交換していきます。6歳頃に下の歯の前歯が生え始め、その後、上下の奥歯、前歯と交換していき12～13歳頃には永久歯が全て揃います。

歯の生え換わる時期には個人差がありますので、あくまで目安になります。



抜ける時期は人それぞれ  
神経質になりすぎないで

### ・矯正はいつから始めたらいいの？

矯正治療は、あごの成長を利用して行うのが有利です。一般的には12～14歳くらいの間はあごの成長が最も大きくなります。このため14～15歳くらいまでに治療がほぼ終了していることが望ましいとされています。

成長には個人差もあるため、治療期間はお口の状態によって異なりますが、およそ1年半から3年くらいはみておくとういでしょう。

したがって、遅くても10歳前後には歯科医院にかかりご相談されるとよいと思われます。

## ・治療はどんな風にしてるの？

痛みを出来る限り少なくするようにして、また短時間で手際よく行うことを心がけています。恐怖心を抱かせないように、実際に治療に使用する器具を子どもに見せて、説明してから治療します。上手く出来た時はたくさん褒め、時には叱ることもあります。これも治療を円滑に行うテクニックのひとつです。ご理解ご協力ください。

お子さんの治療の場合、保護者に診療室まで付き添ってもらうことが多いですが、治療中にお子さんの関心が保護者の方に向いてしまうと、治療に集中することが難しくなります。1人で治療椅子に座れるようなら頑張って1人で診療室に入ってみましょう。

治療が終わった後は、「よく頑張ったね！」とたくさん褒めてあげてください。褒められることで子どもは自信を持ちます。

高学年や大人になっても極度に歯科治療に恐怖心をもたないために、幼い頃の経験や対応が重要なのです。

## ・歯磨きのコツは？

子どもの手にも握りやすい太めの持ち手で、短時間でもしっかり磨けるように、毛は短めの歯ブラシがおススメです。

幼児期～学童期のお子さんが自分で歯磨きをしても、自分の歯を十分にきれいにすることは難しいことですので、大人の方による仕上げ磨きが重要です。

仕上げ磨きをする時は、歯垢のたまりやすい歯と歯ぐきの境目や歯と歯の間を中心に、歯ブラシを軽い力で細かく動かして磨くようにしましょう。また歯と歯の間には、デンタルフロスを使用するのもより一層効果的です。



ヘッドの大きさは指2本分  
毛の長さは短め  
持ち手は太めのもの

お子さんは大人の言葉を敏感に感じ取ります

「虫歯になっちゃったら歯医者さんに怒られるよ」なんて言わないでください。歯科医院＝怖いところになってしまいます。

虫歯になる前に歯科医院に来る習慣づけや毎日の歯磨きを楽しみながら行う工夫をしてみてください。



## ・フッ素は塗ってもらった方がいい？

フッ素塗布は、子どもの虫歯予防において、大変有効かつ重要な手段です。歯科医院のフッ素は、医薬品で市販のフッ素入り歯磨き剤の10倍の含有量です。

塗布のペースは、約3～6ヶ月に一度で歯科医院にてフッ素塗布を受けるとよいでしょう。

むらた歯科クリニックでは大人と同じようにお口の中を診査後、清掃し、ブラシで歯の表面を磨き、フッ素のペーストを塗布しています。

ご家庭では、毎日フッ素入りの歯磨き剤等を活用して口の中を清潔に保ち、虫歯や歯肉炎を予防しましょう。

## 編集者より

むらた歯科通信がリニューアルしました！これからも読みやすい紙面を目指して頑張ります！！

## 10月の予告

## 歯がしみる！あなたはどうか対処する？

知覚過敏の原因は様々。そのメカニズムや対処法をお伝えします

